

取扱説明書

品質保証書付き

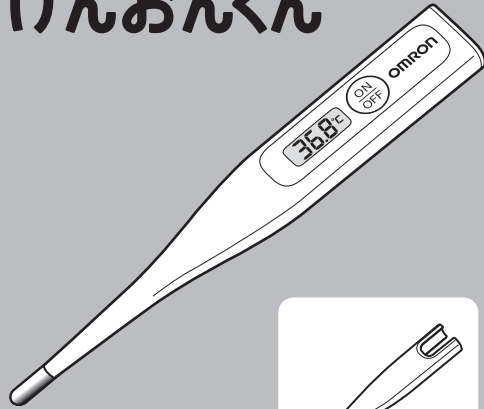
OMRON

5328652-0E

オムロン電子体温計 MC-246 わき・口中

医療機器認証番号: 222AGBZX00004000

けんおんくん



お知らせブザー付きの
スタンダードタイプ

〈付属品〉
●収納ケース

■このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

■安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

■本書は、いつもお手元においてご使用ください。

■本書は品質保証書を兼ねています。紛失ないように保管してください。



安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

■警告、注意について

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

* 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

■図記号の例

●記号は強制（必ず守ること）を示します。（左図は“必ず守る”）

○記号は禁止（してはいけないこと）を示します。（左図は“禁止”）

体温計の正しいあてかた

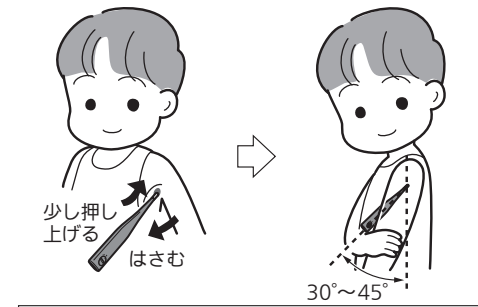
体温計を正しくあてて測らないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。

わきで測る場合

- わきの中心にあてる

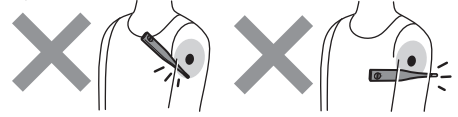
温度が高いのは
わきの中心

- 下から少し押し上げるようにして、わきをしっかりとめる
わきと体温計が密着するように腕を軽く押さえてください。



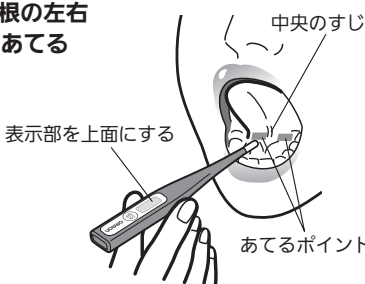
上から差し込むと、
わきのくぼみに
あたらない

横から差し込むと
先端がでてしまう

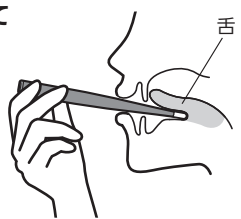


口中で測る場合

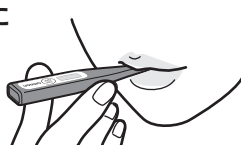
- 舌下のつけ根の左右
どちらかにあてる



- 舌で体温計を密着させて
口を閉じる



- 体温計がずれないように
手で支える
- 検温中は口を開かない
口で呼吸しない



こんなときは正しく測れません

- 運動や入浴、飲食の直後
30分以上時間をあけましょう。



- 長時間布団の中にいたりして、
わきの下が汗ばんでいるとき
わきから汗を
きれいにふき
取りましょう。



- 起床後すぐに動き出したとき
起床後、動く前に測るか、
動き出してから30分以上
時間をあけましょう。

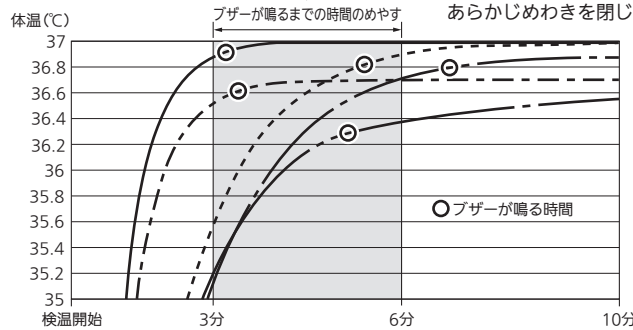
※起床直後に動き出したときは、
体温が高くなり、変動が大きくな
っています。

検温のしくみ

温度上昇がほとんどなくなると
ブザーが鳴ってお知らせします。

ピピピピィ、ピピピピィ、
ピピピピィ

〈わきで検温した場合〉



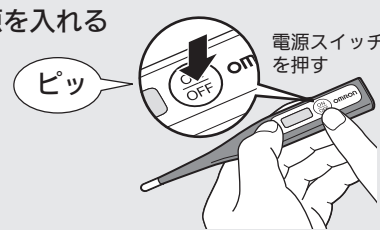
※人によって温度上昇の遅い人と速い人がありますので、ブザーが鳴るまでの時間、そのときの温度には個人差があります。あらかじめわきを閉じて温めておくと上昇が速いです。

一般的に実測式体温計の場合、
正しく測るには、わきで約10分
（口中で約5分）の時間が必要です。

温度は測り始めるとともに徐々に上がって
いきます。温まって温度変化がなくなるま
でに、わきをしっかりと閉じて約10分（口
中では口をしっかりと閉じて約5分）かかる
といわれています。

体温の測りかた（検温）

1 電源を入れる



表示部が全点灯

188.8^M°E

前回測った体温が表示

36.0^M°C

検温の準備中

37.0°

2 「L」が表示されたら、体温計を わきにはさむ

※口中で検温するときは、
舌下のつけ根にあてます。



「L」が表示されれば
準備完了

L^M°E 点滅

【こんなときは】
外気温（周囲環境温度）が32℃
を超えると感温部が温まり、温
度を表示する場合があります。
この場合は、感温部をよく絞っ
たぬれタオルなどで冷やしてか
ら検温してください。

検温スタート

34.5° 点滅

3 温度上昇がほとんどなくなると、 「ピピピピィ」と3回鳴るので、 検温結果を確認する

※正しく体温を測るには
約10分測り続けてく
ださい。
（詳しくは「検温のしく
み」をご覧ください。）



ピピピピィ、ピピピピィ、
ピピピピィ

「℃」が点灯に変わる

36.8° 点灯

4 電源を切って、収納ケースに入れる

お願い

約30分後（測定していないときは約3分後）に電源が切れますが、
電池の消耗を防ぐため、電源は切ってください。



故障かな？と思ったら…

■検温値がばらつく

ここを確認する	処置のしかた
体温計の感温部をあてるところが、検温するたびに変わっていませんか。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。

■思ったより検温値が低いと思ったとき

ここを確認する	処置のしかた
体温計を正しくあてていますか。	「体温計の正しいあてかた」を確認してください。
汗をかいていませんか。	汗をふいてから、もう一度測り直してください。
お知らせブザーが鳴るときの温度について	ブザーの鳴る温度は温度上昇のしかたによって変わります。「検温のしくみ」を確認してください。
予測式体温計で測った場合と比べていませんか。	この体温計は予測式体温計ではなく、実測式体温計です。実測式体温計の場合、ブザーが鳴ったときの温度はほぼ平衡温に達していますが、まだ少し温度上昇します。より正しい体温を測るには、10 分間測定してください。

■電源スイッチを押しても表示部に何も表示されない

ここを確認する	処置のしかた
電池の⊕⊖の向きが間違っていないですか。	電池を正しく入れ直してください。
●電池が消耗していませんか。 ●表示部に $\times$ が表示されていませんか。	新しい電池（LR41）と交換してください。

■検温準備中に「37.0℃」が出ない

ここを確認する	処置のしかた
「36.9℃」～「37.1℃」が表示されている。	そのままご使用いただけます。
電源を入れ直しても何度も「36.9℃」～「37.1℃」以外が表示される。	故障の可能性があります。オムロンお客様サービスセンターへお問い合わせください。

■検温値以外が表示されたとき

表示	表示の原因	処置のしかた
L	感温部の温度が 32℃未満のときに表示されます。	エラーではありません。そのまま検温を続けてください。
H	感温部の温度が 42℃を超えるときに表示されます。	感温部を、よく絞ったぬれタオルなどで冷やしてもう一度測り直してください。

未永くご使用いただくためのお願い

故障の原因となりますので、下記の注意をお守りください。

- 人の検温以外には使用しないでください。
- 本体や収納ケースに強いショックを与えたり、落としたり、踏んだり、振動を与えたりしないでください。
- 水気が付いたままでケース内に収納しないでください。必ず、乾いた布でふき取ってください。

電池の交換のしかた

お買い求め時は、本体にお試用電池が入っています。お試用電池は、電池寿命の回数以内に切れることがあります。

使用電池: アルカリマンガンボタン電池 LR41 (市販品)
お試用電池の表示は「LR41」とは異なる場合がありますが、交換の際は「LR41」をお買い求めください。

電池交換表示

電源を入れたときに右図の表示が出たら、電池を交換してください。

電池交換表示

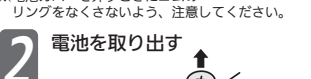
※本体が水にぬれているときは、電池カバーを外さないでください。

1 本体裏面の電池カバーを、コインなどで回して取り外す



※電池カバーを外すときにゴムのリングをなくさないよう、注意してください。

2 電池を取り出す



※電池は飛び出すことがありますので、注意してください。



- お願い**
- 使用推奨期限の過ぎた電池を使わない。
 - 使用済み電池・本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

使い終わったら

体温計は、いつも清潔にお手入れしてください。

- 激しく水をかけたり長時間水につけたままにしないでください。
- 本体の汚れは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布でふき取るか、または軽く水洗いした後、やわらかい布でからぶきしてください。
- 下記のことを守ってください。故障の原因になります。
 - 汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
 - 本体内部に、水などが入らないように注意してください。
 - 体温計の感温部を、長時間アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える湯）で消毒しないでください。
 - 超音波洗浄をしないでください。

体温計は、収納ケースに入れて保管してください。

- 下記のようなところには保管しないでください。故障の原因になります。
 - 水のかかるところ。
 - 高温多湿のところ、直射日光があたるところ、暖房器具のそば、ほこりの多いところ、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
 - 傾斜、振動、重圧、衝撃のあるところ。
 - 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

仕様

医療機器認証番号	222AGBZX00004000	測定精度	±0.1℃ (標準室温 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合)
類別	機械器具 16 体温計	測定範囲	32.0～42.0℃
一般名称	電子体温計	使用環境温湿度	周囲温度：+10～+40℃、 相対湿度：30～85%RH
医療機器分類	管理医療機器	保管環境温湿度	周囲温度：－20～+60℃、 相対湿度：30～95%RH
販売名	オムロン電子体温計 MC-246	防水性	JIS T 1140 に定められた防浸形に準ずる
電源電圧	DC1.5 V (アルカリマンガンボタン電池 LR41×1 個)	本体質量	約 12 g (電池含む)
消費電力	0.1mW	外形寸法	幅 19.4×長さ 132.5× 厚さ 10.0 mm
耐用期間	5 年	付属品	●お試用電池 (アルカリマンガンボタン電池 LR41×1 個) ●収納ケース ●取扱説明書 (医療機器添付文書・品質保証書付き) ●EMC 技術資料
電池寿命	約 5000 回 (実測：10 分)		
感温部	サーミスタ		
電撃保護	内部電源機器 ⤴=B 形装着部 (感温部・プローブ)		
測定方式	実測	体温表示	3 桁＋℃表示、0.1℃毎

オムロン健康商品・修理・別売品・消耗品に関するお問い合わせは

オムロンお客様サービスセンター			
ダイヤルは直通電	☎電話 0120-30-6606	通話料無料	FAX 0120-10-1625
受付時間 9:00～17:00 月～金 (祝日を除く)			
都合によりお休みをいただくいたり、受付時間帯を変更させていただくことがありますのでご了承ください。			

ホームページ <https://www.healthcare.omron.co.jp/>
※通話料はお客様ご負担となります。(別売品・消耗品は、インターネットでもお求めいただけます。)

製造販売元 **オムロンヘルスケア株式会社**
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後 1 年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
- 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
- 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 品質保証書の提示がない場合。
 - (ホ) 品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ヘ) 消耗部品。
 - (ト) 故障の原因が本商品以外に起因する場合。
 - (チ) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
- 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 補修用部品は製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。

品質保証書	
このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございます。製品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常の使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理または交換いたします。 ※商品の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。 This warranty is valid only in Japan.	
販売名	オムロン電子体温計 MC-246
ご芳名	
ご住所	
TEL	()
※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただくください。	
お買い上げ店名	㊞
住 所	
TEL	()
お買い上げ年月日	年 月 日
製造販売元	オムロンヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地	

※2020 年 10 月 (第 4 版)

※2016 年 12 月 (第 3 版) (新記載要領に基づく改訂) 機械器具 16 体温計
管理医療機器 電子体温計 14032010

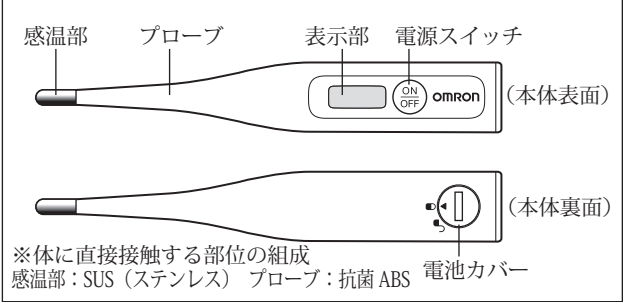
オムロン電子体温計 MC-246

【禁忌・禁止】

- (電子体温計を適正にご使用いただくための注意事項です。)
- ・検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。
 - ・[自己診断は、病気が悪化する原因になります。]
 - ・人の体温測定以外に使用しないでください。
 - ・[動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。]

【形状・構造及び原理等】

* 1. 形状



※体に直接接触する部位の組成
感温部：SUS (ステンレス) プローブ：抗菌 ABS 電池カバー

* 2. 構成

標準付属品	
収納ケース	1 個
お試用電池 (アルカリマンガンボタン電池 LR41)	1 個
取扱説明書 (医療機器添付文書・品質保証書付き)	1 部
EMC 技術資料	1 部

* 3. 動作原理

- (1) 本機はサーミスタの抵抗値が温度により変化するという特性を応用した電子体温計です。
- (2) まず基準抵抗で構成された発振回路により充放電発振をおこない、あらかじめ設定された充放電回数までの時間を求めます。
- (3) 次にサーミスタで構成された発振回路により充放電発振をおこない、(2) で求めた時間における充放電回数をカウントします。
- (4) このカウント数を、あらかじめ設定された計算式により温度に変換し表示します。

4. 本体寸法及び重量

外形寸法	：19.4 (幅) × 132.5 (長さ) × 10.0 (厚さ) mm
質量	：約 12 g (電池含む)

5. 電気的定格

電源	：アルカリマンガンボタン電池 LR41 (DC1.5V)
電撃保護	：内部電源機器 B 形装着部
消費電力	：0.1 mW

* 6. 性能及び安全性に関する規格等

- (1) 最高温度保持機能：実測した最高温度値を保持し一定時間表示する
- (2) デジタル表示：実測した体温をデジタル表示する
- (3) 最大許容誤差：±0.1℃
※標準室温 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合
- (4) 電源電圧：JIS T 1140：2014 に適合
- (5) 応答特性・応答時間：JIS T 1140：2014 に適合
- (6) 防 浸：JIS T 1140：2014 に適合
- (7) 測温範囲：32.0～42.0℃
- (8) 最小表示単位：0.1℃
- (9) 測定範囲外告知：32℃未満のとき「L」を表示、42℃を超えるとき「H」を表示
- (10) 感温部：サーミスタ
- (11) 測定方式：実測（ピークホールド方式）
- (12) 体温表示：デジタル表示 3 桁＋℃表示、0.1℃毎
- (13) ブザー：電子ブザー（約 3 秒間）
- (14) 使用環境周囲温度：+10～+40℃ 相対湿度：30～85%RH

* *

* 【使用目的又は効果】

本製品は、サーミスタ式の電子体温計です。体温計の感温部をわき（又は舌下）に接触させて、人の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示します。わき・口中用。

* 【使用方法等】

- (1) 電源スイッチを押して電源を入れます。
- (2) 「L」が表示されたら感温部をわき（又は舌下）に挿入し、密着させます。10 分間測定してください。(舌下の場合は 5 分間)
- (3) 温度上昇がほとんどなくなるとブザー音が鳴り、「℃」の点減がとまります。
- (4) お知らせブザーを目安として見る場合は、わき（又は舌下）から取り出します。より正確に測るには継続して測定してください。
- (5) 電源スイッチを押して電源を切ります。
・詳細については取扱説明書をよくお読みください。

【使用上の注意】

- (1) 検温中、感温部を検温する部位に密着させるように固定し、空隙はつくらないようにしてください。また大幅に動かさないでください。
- (2) 電池の電圧が低下すると電池マークが表示されますので電池を取り替えてください。
- (3) 運動や入浴後、30 分以上あけてから検温してください。
- (4) 飲食後、30 分以上あけてから検温してください。
- (5) 起床直後の行動開始時期は、比較的激しく体温が上昇しますので、30 分以上あけてから検温してください。
- (6) わきの下が汗ばんでいるときはわきの下を乾いた布で数回拭いてから検温してください。
- (7) 激しく水をかけたり長時間水につけたままにしないでください。
- (8) 感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- (9) 本体を噛まないでください。
- (10) 乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけのご使用はさけてください。
- (11) 周囲温度は 10～40℃の範囲で使用してください。

* 【保管方法及び有効期間等】

* 1. 保管方法

- 次のような環境に保管してください。
- 保管環境周囲温度：－20～+60℃
相対湿度：30～95%RH
- 次のようなところに保管しないでください。

- (1) 水のかかるところ。
- (2) 高温・多湿、直射日光、ホコリ、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- (3) 傾斜、振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
- (4) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

2. 耐用期間

※標準的な使用期間：5 年〔自己認証（当社データ）による〕

【保守・点検に係る事項】

- (1) 故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様サービスセンターにご連絡ください。
- (2) 勝手に改造しないでください。
- (3) 本製品に化学薬品をかけないでください。
- (4) 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- (5) 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布で拭き取るか、または軽く水洗いした後、やわらかい布でから拭きしてください。

* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：オムロンヘルスケア株式会社
電話：0120-30-6606
(オムロン お客様サービスセンター)

取扱説明書を必ずご参照下さい。